全国大会、及び審判クリニック報告

2013年8月25日
加藤　重亮　・　田村　嘉浩

ボールがコート外へ出たら
　　主審、CMが「タイム」。説明は不要で、タイムイン。

計時員
　　主審、CMの「タイム」で手を挙げる、しばらくして下げる。
　　主審の支配権の指示で手を挙げる。タイムインで手を下げる。

スコアの報告
　　主審　　右側から「チーム名（色）と数」
　　記録員　「数」のみ復唱、書いて、左（右）手を挙げる。
　　主審　　記録員の手を確認して、左側の「チーム名（色）と数」
　　記録員　「数」のみ復唱、書いて、左（右）手を挙げる。
　　主審　　記録員の手を確認して、ホームポジションで「集合」
　　主審と記録員は、アイコンタクトを取る意識を持つ。

試合前、2及び3線審のプレイヤー確認
　　手だけではなく、頭からつま先（靴ひも）まで、安全にプレイできるかを確認。
　　ヘアピン：飾りがないものなどは可。（扱いはメガネと同じ自己責任の範疇）
　　テーピング：判断がつかない場合は、主審に報告（予防です→予防と判断しているので、報告は必要なし）

副審のタイム要求
　　TB、P-112 【副　審】3）②インプレイゾーンに入る、を、センターサークル中心まで入り「タイム」とコールして両手を下げる、と解釈する。
　　（TB、P-113【線　審】も同様。）

線審のタイム要求
　　センターサークル中心まで行き、「タイム」とコールして旗を降ろし、後を振り向き、動作（ジェスチャー）と声で座るように指示するのは、
　　同じ側（1と2、3と4）二人の線審が同時にタイム要求した際のみでなく、一人の際も振向き可。
　　プレイヤーの番号の確認や、タイム要求の事由の確認のために。

オフィシャルタイムアウト中の（タイム要求）→本来、あってはならない行為です。
　　線審　　「ピー」、旗を振りセンターサークルへ。
　　CM　　「ピー、主審」
　　オフィシャルタイムアウト中なので、「タイム」と言わない。
　　線審からのオフィシャルタイムアウトは全員集合するが、タイム中のタイム時は主審が招集動作をする。

支配権の指示　　TB　P-109
　　ボールの支配権がある側の掌を上にし、5指を揃えたままで各エリアを示す。
　　例：外野エリアに寄った位置で目の前の内野へ支配権を示す場合、手を前に示す。

B級受験レベルアップ研修会にて

久高　健

・アウトと同時にオーバーライン
　「〇番アウト」・「ピィーッ」・「オーバーライン」・ボールの支配権

・アシスト不成立（アシストキャッチした選手のオーバーライン）
　「ピィーッ」・「オーバーライン」・「アシスト不成立」・「〇番アウト」・ボールの支配権

・アウトコール後、副審または線審からオーバーライン
　「ピィーッ」・「オーバーライン」　一旦手を下して　手を横に広げ「〇番セーフ」